


【件名】	環2築地虎ノ門トンネル標識設置工事その1（3—環2虎ノ門）	【事務所名】	第一建設事務所	
【工事場所】	東京都港区東新橋一丁目地内から同区虎ノ門一丁目地内まで	【受注者名】	ニューズ産業株式会社	
【工期】	令和4年3月7日から令和4年12月20日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 兼子 正和	

【工事概要】

工事延長 L=1200.0m
 道路標識（内照式）設置 9基
 道路標識（内照式）板取替 1基
 落下防止金具設置 9基
 配管・配線 1式

【表彰理由】（※発注者側評価）

本工事は本線開通に向けて工期の遅れは許されない状況であったが、他工事との施工時期及び施工範囲の綿密な調整、計画的な材料発注等による適切な工程管理を行い、工期を遵守した。

本線開通後に不足する案内標識の改修を提案する等、熱意をもって仕事に取り組むとともに、安全管理も徹底し、無事故で工事を完遂させた。



施工前



施工後

【受注者の声】

- ◇ 苦労した点
既設区間における標識板設置時、近接施工の虎ノ門再開発事業が先行して常設作業帯を設置していたため、協議が難航した。協議を重ねた結果、本工事が土日祝日等の期日指定による作業帯設置にて調整した。
- ◇ 特に工夫した点
社会事情により納期の遅れが見込まれる材料を確実に手配し、本線開通に間に合わせた。
基礎構造が発注図書と相違していた箇所は、施工計画を迅速に再検討した上で施工し
- ◇ 現場で得られたやりがいや達成感
ニュースにも取り上げられるような規模の大きな現場であり、自分の施工した標識がテレビやSNSで映るたびにやりがいや達成感を感じた。
- ◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと
公共工事は税金であるため、毎回胸を張って支払いを受けられるような仕上がり、出来ばえを目指してほしい。



標識基礎コンクリート増設状況